

島根大学ロゴマークのリニューアルの概要・目的

I 歴史

島根大学は、1949（昭和 24）年に、旧制松江高等学校、島根師範学校、島根青年師範学校を母体として、文理学部、教育学部からなる新制大学として発足しました。1965（昭和 40）年には、島根県立島根農科大学を国立に移管し、農学部を設置。1978（昭和 53）年に、文理学部を改組し、法文学部と理学を設置。1995（平成 7）年に、理学部と農学部を融合・改組し、総合理工学部と生物資源科学部を設置しました。

一方、島根医科大学は、県内唯一の医科大学として 1975（昭和 50）年に設置されました。

2003（平成 15）年に、旧島根大学と旧島根医科大学を統合し、新「島根大学」を設置。さらに、2004（平成 16）年には、国立大学法人島根大学となりました。

そして、2019 年には開学 70 周年を迎えました。

II 大学の理念・ビジョン

1) 島根大学憲章・キャッチフレーズ

地域に根ざした国立大学として、その存在意義をなお一層明確にして大学の目指すべき方向を示す「島根大学憲章」を 2006（平成 18）年 4 月に制定いたしました。

大学憲章では、『島根大学は、学術の中心として深く真理を探究し、専門の学芸を教授研究するとともに、教育・研究・医療及び社会貢献を通じて、自然と共生する豊かな社会の発展に努める。とりわけ、世界的視野を持って、平和な国際社会の発展と社会進歩のために奉仕する人材を養成することを使命とする。この使命を実現するために、島根大学は、知と文化の拠点として培った伝統と精神を重んじ、「地域に根ざし、地域社会から世界に発信する個性輝く大学」を目指すとともに、学生・教職員の協同のもと、学生が育ち、学生とともに育つ大学づくりを推進する』ことを謳っています。

この「島根大学憲章」の精神を一言で表す言葉（キャッチフレーズ）として「人とともに 地域とともに 島根大学」を策定しました。

2) 島根大学 SDGs 行動指針

2019（令和元）年、持続可能な開発目標（SDGs）の行動指針を定め、「地方創生の推進、平和な国際社会の発展とインクルーシブな社会の実現に寄与する人づくりを通じて、SDGs の達成に向けて活動することにより、持続可能な社会の構築に貢献する」「地理的特性を生かし、自然環境の保全・継承のため、地域と強く連携し、あわせて学生の SDGs 意識を高める教育に努める」ことを宣言しました。

これにより、島根大学では、大学憲章を理念とし、SDGs の行動指針を大学経営の基幹に置いています。

3) 中期的ビジョン

2016（平成 28）年に、第 3 期中期目標・中期計画[※]を踏まえ、本学の将来ビジョンと行動戦略を描き、進むべき方向性を明示した「島根大学未来戦略（SMART20）」を策定。その進捗、成果や課題を検証した結果は 2021（令和 3）年 2 月に公表しています。

（※国立大学法人が 6 年間にわたって達成すべき業務運営に関する目標。第 3 期は 2016～2021 年）

2021年3月には、これまでの諸活動や検証結果を踏まえながら、次の世代に向けて『地域から未来を拓き、人と企業を呼び込む大学へ』という想いを込めて、教育、研究、地域・社会連携、経営戦略の4つのビジョンと目標を定めた「島根大学ビジョン2021」を取りまとめました。本ビジョンは学内構成員、同窓生、保護者、地域の自治体、企業、住民等全てのステークホルダーとのエンゲージメント（約束）として共有し、その実現に向けて大学全体で取り組み、島根に生きる島根大学としてますますの発展を目指しています。

Ⅲ ロゴマークの趣旨及びリニューアルの目的

1) 現在のロゴマークの意味

現在のロゴマークは、2003（平成15）年の旧・島根大学と旧・島根医科大学の統合に際して作成されたもので、「総合大学として飛躍し、発展する島根大学を日本海の青色と“University”のUで、知性を愛し感性を育む学問の探求を茜色の扉と本で象徴」したものです。

その形状は、島根医科大学のロゴマークに基づいて、「医の扉」を「学問の扉」と読み替えて、再度、デザインされています。

2) リニューアルの目的

本学は2023（令和5）年10月に旧・島根大学と旧・島根医科大学の統合20周年を迎えます。また、同年4月には工学系の新学部「マテリアル創成工学部（仮称）」の設置を予定しています。その節目に、本学の学生や教職員、サポーター（島大会員）がワンチームとなり、地域の特性を踏まえながら、次の時代に向けてチャレンジし続ける姿勢、本学の強みや魅力、新しいビジョンを示す姿勢を訴求していきたいと考えています。

そこで、学生及び教職員、そしてサポーター（島大会員）の一体感を醸成するとともに、本学の歴史とこれからの発展を社会にアピールすることを目的とし、リニューアルすることとなりました。





SHIMANE
University



人とともに 地域とともに
国立大学法人

島根大学

IV 大学を取り巻く環境

1) 本学の姿勢について

国レベルで地方創生に資する地方国立大学の機能強化に向けた議論が活発化するなか、「やる気のある」地方国立大学の判断基準として、価値創造にチャレンジする大学経営の工夫（改革）が求められています。このことは、教育・研究での果敢な取り組みによって成し得るものですが、ロゴマークリニューアルの気運が本学の「変化」につながり、「島根大学が変わろうとしている」、「チャレンジする島根大学」という姿勢を発信する一助と成り得ると考えています。

2) 大学一丸となったロゴマークの作成

大学が一丸となった総合大学としての存在感を示すために、全学の学生や教職員、サポーターが「全員で考えた」、「全員で選んだ」という動機付けが不可欠であることから、第2次選考では、全学の学生・教職員、そしてサポーターである島大会員による投票を行います。

学生や教職員、サポーターはもちろん、全てのステークホルダーの皆さまに親しみを持っていただける新しい「島根大学ロゴマーク」とともに、存在価値を高め、更に発展していくことを目指しています。